



ログイン >

お問い合わせ >

論文ダウンロード >

HOME

土壌物理学会とは

入・退会案内

刊行物

投稿規定

学会大会案内

学会賞

事務局

リンク

土壌物理学会とは

学会長挨拶：

2017年4月より土壌物理学会会長に就任しました石黒宗秀です。本学会の特長と、今期の方向性を記して、ご挨拶とさせていただきます。本学会の前身の土壌物理研究会は、土壌の物理性に関心を持つ多分野の研究者によって発足しました。土壌物理学、農地工学、かんがい排水学、土壌肥科学、農業機械学等、農学系が中心でしたが、その後環境問題が重要課題になって、研究対象も広がりました。これからも、多様な研究者が集う開かれた場として、研究の発展を図っていきます。

土壌物理学会は、土壌の物理的現象に関連する科学と技術の研究領域を対象にしています。その現象は、土壌の化学性、生物性、表面特性とも密接に関連するため、幅広い領域が含まれます。土壌物理学は、土壌の物理的特性および、地球上の陸面、特に表層土中における水・物質・エネルギーの移動・変換・貯留とそれに関連する諸現象を物理的に解明する学問です。地球規模の循環物質である水および、二酸化炭素・メタン・亜酸化窒素のような温室効果ガスも対象物質です。分子レベルの土壌表面吸着、土壌微生物による分解反応等が起こるナノレベルから、地球規模の循環までが対象となります。科学として興味深い広大な世界が広がっています。そのような科学を基礎として、農業・環境技術の発展が求められる時代です。土壌物理学を専門とする研究者はもとより、関連する多くの分野の研究者が、今後とも集う学会にできればと思います。

社会に貢献する優れた技術は、優れた科学の基礎の上に作られます。ほとんどの会員諸氏は、実学分野に身を置くため、その研究が何の役に立つのか、と常に問いかねられることと思います。しかし、実用面から役に立つ研究しか認めないようでは、科学は軽視され、衰退します。その結果は、長期的にみると、技術も衰退することになります。科学を大切にす学会として、快適な研究環境を皆で形成したいものです。

福島第一原発事故や、日本の公害第一号の足尾銅山鉛毒水事件に見られるように、農地土壌の汚染問題は、常に社会の重大問題として浮上します。また、現代農業の基本である農業と化学肥料の多投は、土壌を劣化させ、環境問題の原因となり、農村を彩る多様な生物を、絶滅の危機に追いやっています。これまで、ほとんどの日本の農学研究者は、農業と化学肥料の多投を前提とする農業技術に力を注いできましたが、このような農法を続けて人類は存続できるのか疑問の声も上がっています。2015年に発行された学会誌132号（p.55-59）に、粕淵辰昭・荒生秀紀・安田弘法3氏が、水田作における伝統的な多数回中耕除草の効果について考察していますが、彼らは、その中耕除草農法を用いて無農薬・無肥料で高収量高品質稲作に成功しています。従来とは異なる、新しい農法の研究もいっしょに進められています。持続的で豊かな自然の恵みを受継ぎ得る循環型社会を形成するために、環境研究や新農法の研究に注目して行きます。

歴史：

土壌物理学会は、土壌物理に関する研究の進歩と普及を図り、農業技術及び環境科学の発展に貢献することを目的として、1958年に土壌物理研究会として発足しました。会員数は約300名と小さな学会ですが、59年の歴史を持っています。1985年に更なる発展を目指して、土壌物理学会と改称し、今日に至っています。

[第28期](#) [第27期](#) [第26期](#)

活動：

会員の最新の研究成果を発表する場として、学会誌「土壌の物理性」を、1997年までは毎年2号、それ以降は毎年3号、刊行しています。2017年4月1日現在で135号までになりました。本誌には約半世紀にわたり、我が国の農業そして海外の研究動向を反映した研究成果が収録されています。先人の研究には多くの貴重なヒントがあります。これを広く普及し、研究の進展・深化に寄与することも学会の大切な役割であると考え、現在、132号までの記事を土壌物理学会ホームページに無料で公開しています。

学会では、会誌の発行の他に、毎年1回シンポジウムとポスター発表を行っています。シンポジウムのテーマは会員にとって有益だと考えられる最近の主要な研究トピックから選び、講師には会員、非会員を問わず適任者を選んでいきます。また、シンポジウムに参加できなかった会員のために、会誌でシンポジウムの報告記事を掲載しています。

シンポジウムと同時に、ポスター発表も行っています。情熱に燃える院生から完成の域に達した研究者まで多くの方が発表していますが、特に若い研究者には、発表をする、自分の身近な組織外の専門家の意見を直接聞くことができる絶好の機会となっています。

また、学会誌「土壌の物理性」に掲載された原著論文の中から特に優秀な論文に土壌物理学学会賞（論文賞）を授与しています。さらに、年一回の全国大会ポスターセッションにおいて優秀と認められたポスター発表には土壌物理学学会賞（ポスター賞）を授与しています。

[土壌物理学会会則ダウンロード >](#)



石黒 宗秀

北海道大学大学院 農学研
究院
土壌保全学研究室

[HOME](#)

[土壤物理学会とは](#)

[入・退会案内](#)

[刊行物](#)

[投稿規定](#)

[シンポジウム](#)

[学会大会案内](#)

[学会賞](#)

[事務局](#)

[リンク](#)

[ログイン](#)



Copyright © JSSP All Rights Reserved.